

4月

新着本の紹介



青字は児童

書名	著者名	内容
月とアマリリス	町田そのこ	北九州市の高蔵山で一部が白骨化した遺体が発見された。地元のタウン誌でライターとして働く飯塚みちるは、元上司で週刊誌編集者の堂本宗次郎の連絡でそのニュースを知る。警察は、遺体を埋葬するお金のない者が埋めたのではないかと考えているという。
春立つ風	あさのあつこ	油屋『出羽屋』の離れで放蕩息子一郎太が喉を突き、自ら命を絶ったという。主、忠左衛門と後添えのお柴に話を訊く同心木暮信次郎はいつになく執拗だ。彼が拘るということは、ただの自死ではないのかー。
猫の刻参り 三島屋変調百物語 拾之続	宮部みゆき	江戸は神田三島町にある三島屋の次男坊富次郎は、変わり百物語の二代目聞き手。飼い主の恨みを晴らす化け猫、命懸けで悪党壊滅に挑む河童、懺悔を泣き叫ぶ山姥が登場する客人の身の上話を聞いている。
C線上のアリア	湊かなえ	美佐は、叔母に認知症の症状が見られると役場から連絡があり、懐かしい故郷を訪れる。かつて、美しく丁寧に暮らしていた家はごみ屋敷と化していた。担い手となった女性たちの心の声が響く介護ミステリ。
リペアラー	大沢在昌	イラストレーターの想一は、友人でノンフィクション作家のミヤビから、彼女が受けた依頼の手伝いを頼まれる。40年前、六本木のビルの屋上で遺体となって見つかった男性を調べることだった。依頼人の正体も目的も分からぬまま、調査し始める。
楽園の楽園	伊坂幸太郎	大規模停電、強毒性ウィルスの蔓延、飛行機墜落事故などが立て続けに発生し、世界は急速に混乱に陥った。これらすべての原因は謎の人工知能『天軸』の暴走と考えられた。
謎の香りはパン屋から	土屋うさぎ	市倉小春は同じパン屋で働いている親友の由貴子に、一緒に行くはずだったライブビューイングをドタキャンされてしまう。誘ってきたのは彼女のほうなのにどうして？疑問に思った小春は、彼女の行動を振り返り、意外な真相に辿りつく……。
青い壺 新装版	有吉 佐和子	無名の陶芸家が生み出した美しい青磁の壺。売られ盗まれ、十余年後に作者と再会するまでに壺が映し出した数々の人生。人間の有為転変を鮮やかに描いた有吉文学の傑作

<p>おしりたんてい たいけつ! かいとうアカデミー スターサイド</p>	<p>トロル</p>	<p>アイドルコンテストから失踪したコアラちゃんのいところを探すため、おしりたんていは会場となったスターダス島に向かうが、そこはかいとうアカデミーの本拠地でもあったー。</p>
<p>おこじょへのてがみ</p>	<p>カイズケン</p>	<p>夏の山で出会ったおこじょが、冬になると毛が白くなると知った男の子。気になって手紙を書いて、窓辺にとまったすすめにとどけてとお願いしてみる。いろんな動物たちができるところまでつないで手紙を運んでいくお話。</p>

【お知らせ】

月刊誌も配架しています。ぜひ、ご利用ください。

■NHKテレビテキスト「囲碁講座」 ■「すてきにハンドメイド」 ■「ESSE」

